

■事前にご購入が必要な部品

91302-P7W-A00 Oリング 75円 1個

21811-RPS-000 ガasket 1,450円 1個

上記の他に、オイルシールは必要に応じて手配をお願いします。

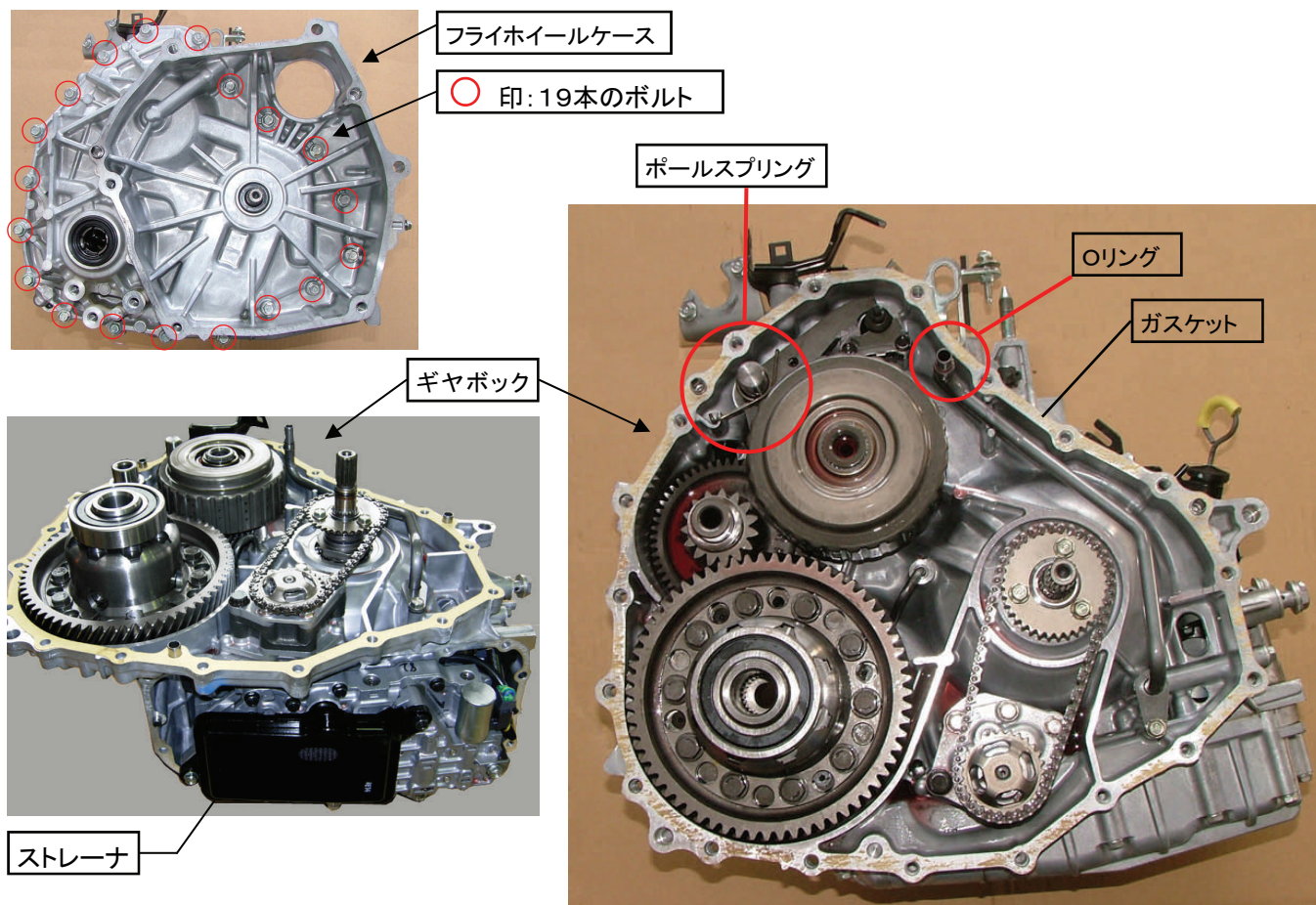
また、ミッションの油温を常時確認できるように油温計を装着願います。

■ミッションの分解・組立要領

高電圧回路の点検・整備上の注意

本車両はハイブリット車なので、高電圧がかかっている箇所(部品)がありますので、作業を誤ると感電などによる致命的な身体ダメージあるいは車両機能損傷を起こす危険があります。法令で定められた講習を受講する、関係情報を入手するなど作業前に慎重にご準備願います。高電圧回路に係わる点検・整備を行うエンジニアは労働安全衛生法第59条ならびに労働安全衛生規則第36条により特別教育の受講が義務付けられています。また、整備マニュアルによれば、ブレーカーOFF後には通電していませんが、システムに異常がある場合を想定してハイブリッド用バッテリー端子電圧を測定し30V以下であれば作業を開始してよいと記述されています。これら、情報をご参考に、周辺情報を十分調査し安全に作業できるようにしてください。絶縁手袋、絶縁工具を使用して整備マニュアルに従って作業願います。

- 1 フライホイールケースとギヤボックスを結合しているボルト19本を取り外してください。
- 2 ボルトを外すとフライホイールケースとギヤボックスとを簡単に分離できます。この際に、ボールスプリングがはずれるので、組立時に正常位置にもどすこと。また、分解時にOリングとガasketを傷める可能性があるため、新品に交換してください。
- 3 整備マニュアルに準じて、必要に応じてATFストレーナを点検・清掃・交換してください。(写真なし)
- 4 油温計を装着してください。(ドレンへ装着する場合、ドレンネジはM18×P1.5。装着方法は、油温計メーカーにご相談願います。)
- 5 リングギヤ締め付けトルク : 101N・m (10.3Kgf・m)



■メンテナンスおよび運転操作上のご注意

1 オイルは、ホンダ純正ATFオイル(CVT専用)をご使用ください。他銘柄オイルによる性能・耐久性は保証できません。

2 **加速・旋回時には特にハンドルを両手でしっかり保持してください。**

LSDを装着した車両は加速時にハンドルキックバックやトルクステアが発生しますので、ハンドルの手の平回しや、内かけ操作は非常に危険ですから、このような操作は絶対にしないでください。

3 慣らし運転は、市街地300Kmとし、走行後オイル交換願います。その後は、3000Kmごとに交換してください。

サーキット走行や激しい走行をした場合は、走行距離に関係なく早めにオイル交換してください。

オイル交換の都度、オイルが黒くなっていますが、異常ではありません。

4 必ず油温計を装着してミッションオイルの温度を監視して、120度以下でご使用ください。

5 レース・競技用部品ですので、走行開始後の保証は一切できません。

6 ロック状態や異音など、異常を感じたらただちに運転を停止して、点検し、必要に応じて修理してください。